

豊富なデータと最新情報で業界のリーダーをバックアップ

HOTERES

週刊 ホテルレストラン

2011 3 | 4 ¥1600



特集

独創性と営業力で「ホテルのお別れの会」を売る

緊急リサーチ ホテル業界の個人情報保護意識

TOP INTERVIEW

ラディソンホテル成田 総支配人 ブレント・ベイリー氏

Ohta Publications



WEB

ホテル・レストラン業界人の
ポータルサイト

hoteresweb.com

ホテルウェブ

祭壇演出の最新デザイン

多様化するニーズに対応して斬新なアイデアが続々登場

東京都内の外資系ホテルをはじめ大型シティホテルへ出店を果たすユニー花園。同社ではブランドとともにホテルでのフューネラル分野においても常に新しい提案を行なっている。そんなユニー花園が提案する祭壇演出の最新トレンドを紹介する。

注目され始めたホテルでの祭葬・お別れ会

「ホテルでの祭葬やお別れ会は10〜15年ぐらい前から注目を集め、ここ5年ほどで少しずつ目立つようになりまし。フューネラル業界からみるとホテル企業の参入により、そのスタイルにも徐々に変化が生じ始めていると言えるでしょう」

そう話すのは、ユニー花園の商品企画製作部の渡邊一貴統括部長。これまで大規模な祭葬・お別れ会は、大聖堂や大きな寺院などを会場



商品企画製作部の渡邊一貴統括部長

に行なわれてきた。しかし、こういった場所で行なうには、意外に設備投資に経費がかかる。受付や弔問客が待機し食卓するためのテントを張るなど、弔問客がすべて電車やバスなどの公共交通機関で来るわけでもない。駐車場の確保も必要になる。大きな宴会場を持つシティホテルであれば、こういった心配がないことが注目されている要因だ。

「ホテルは一度館内に入っしまえば、雨にぬれることもありません。さらには悪天候を心配することもありません。真夏や真冬の厳しい気候でも快適に過ごせます。じつはこういったことは、喪主側からすると大変なことと、せっかく来ていただいた方々に不快な思いをさせたくないという、感謝とまでなしの心を伝えやすいというメリットがあります。

ホテル内であれば、飲食施設も複数ありますから、会の前後の時間の待ち時間、食事などにも不安がありません。さらにホテルスタッフのホスピタリティも一役買っています（渡邊氏）。

一般的な斎場や寺院とホテルとの違いは

「近年、ホテルで行なわれるフューネラルは、寺や斎場で行なわれるそれに比べ柔軟になっていっています。そこには宗教色がないケースがほとんどということが一つあります。そういった状況を見るとホテルならではのスタイルというものも今後誕生していく可能性はあると思います。いまは旧態依然としたフューネラルから新時代のフューネラルへの過渡期とも言えるのかもかもしれません（渡邊氏）。

ホテルの場合、遺体や遺骨の持ち込み、焼香などはできない。その分、献花や献灯などを行なう。照明音響設備も多彩なので近年では工夫を凝らした演出も増えている。ホテルの場合は、これまでの形式にとらわれないわがままな宗教色のないスタイルが受け入れられやすいのだ。

ホテルは専用の式場ではないので、祭葬やお別れ会に關して不都合が多いと思いきや意外にスペースにゆとりがあることが功を奏し、デザインに幅が出るなど斬新な試みが可能になる。といったメリットも生じる。そうした自由度の高さがさまざまな演出を可能にしている。

「斎場や寺院の式場の場合、祭壇は劇場スタイルのステージ上に設置されるか、ステージがない所では壁一面にレイアウトされます。参列者から見ると一面の壁が祭壇になっているように見えます。一方、ホテルの宴会場の場合は開口がとて広いので祭壇が三方から見える

レイアウトとなります（渡邊氏）。つまり、斎場の場合は二次元的なデザインとなるが、ホテルの場合は180度から見えるので、立体的なデザイン構成が必要になる。その分、凝ったデザインレイアウトができるのも魅力となる。

近年の祭葬・お別れ会におけるトレンドとは

ユニー花園では、昨年からはフューネラル専用のウェブサイトを立ち上げた。プレゼンテーションに際しては、商品見本を載せたカタログを用意し、基本的なプランをベースに

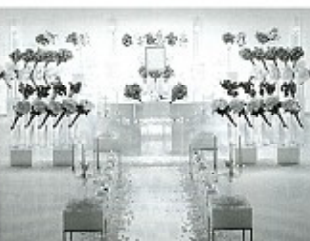
パリエーションを付けて演出を決めていく。ブライダルと違って流行を追いにくいという性格の分野だが、それでも徐々に新しい演出が浸透しつつあるのが現状のようだ。

近年まで葬儀の主流は、白木の祭壇にご供花（籠花）を並べるといったスタイル。最近では白木祭壇を使わない生花祭壇が支持されるようになってきているという。その割合は半数を超えているそうだ。

こうした喪主のニーズの変化を受けてユニー花園では、さまざまなデザインの祭壇演出を提案している。その形は従来の祭壇のイメージとは違った斬新なものが多い

い。まるでブライダルの演出と見まごうものさえ登場している。渡邊氏は、今後こういった個性的な演出がますます増えるだろうと話す。フューネラルの市場予測としては、2040年ごろをピークに死亡人口が増えていくと言われている。近年じわじわと二極化が進んでいて、葬儀をする人とならない人に分かれていくそうだ。ホテル業界がフューネラルに参入するならば中途半端なところを狙ってもうまくいかない。喪主の望む新たなニーズにマッチするホテル独特の演出とスタイルを提案していくことが大切になっていくだろう。

斬新な演出が際立つ祭壇演出の最新トレンド



ピュア
「永遠の純粋さ」をテーマにした祭壇演出。ピュアホワイトとグリーンの世界が広がる。クリアなガラスのペーシや鏡面が清潔感と華やかな祭壇を表現。

サイズ / 9m (W) × 6m (D) × 3m (H)
使用花材 / ビバーナム、パレ、ユリ、シャクアワ、カラネ、キク



清濁
日本の伝統美を意図した二層と豪華な花祭壇。赤、黄、白の色のパロロオサリ、アサギ、白梅のような華やかな花を演出。花のじょうずな人は空に向かってまっすぐに伸びている。

サイズ / 8m (W) × 4m (D) × 3m (H)
使用花材 / グロリオサ、パレ、ヒバナム、スカビオサ、ユカリ、ミディファレン、クリスマスツリー



ルネサンス
中世の伝統と現代的なテイストを融合させた祭壇。ヨーロッパの洋館を思わせる豪華な装飾と美しい花を二層の構成となっている。

サイズ / 7m (W) × 3.6m (D) × 3.3m (H)
使用花材 / パラ、アジサイ、グリフ、アジアンタム、ユカリ、ヤマアワフ、ハスほか



絆
花鳥風月をめでる日本の伝統に西洋の華やかさを調和させた立派な祭壇の演出。列、家族の絆を表現した「絆」の家族の笑顔も華やかさを演出している。

サイズ / 5.5m (W) × 7m (D) × 2.7m (H)
使用花材 / 竹、スカシユリ、ホウズキ、ドラゲンツツク、ヤマゴウ、スプレマム



Tea Time
ガーデンスタイルで行なう新しい形のセレモニーを提案するTea Timeの演出。季節の花々に囲まれ自然に敬意を示す理想を表現。

サイズ / 2.7m (W) × 2.7m (D) × 2.7m (H)
使用花材 / パラ、アスタル、ストック、ワックスフラワー、アマランサス